

## 4. 子ども読書活動推進計画

令和元年度には「第2期豊中市子育て支援行動計画 こどもすこやか育みプラン・とよなか」が、「豊中市子ども読書活動推進計画」の理念もふまえ、策定された。引き続き関係部局・施設・団体・市民と連携しながら、子どもの権利として読書活動の推進に取り組んでいる。

令和元年度の子ども読書活動連絡会では、子育てに関する市民ニーズ調査の担当課の報告をもとに、各所属から見てくることなどを共有し、子どもや読書について情報交換した。また、地域で長年、子どもと本をつなぐ活動を続けてきた子ども文庫の活動の紹介スライド『いい場所みつけ!! ～豊中の子ども文庫～』（DVD）を上映。『2019年度とよなかこども読書マップ』の更新とともに、子どもや読書についての地域情報を得、各活動に活かす機会とした。

今後も引き続き、連携を重視しながら、「子ども読書活動連絡会」の協力体制のもと、読書活動を推進し、環境整備を進めていく。



子ども読書活動連絡会でのグループワークと発表

## 5. 事業報告

### ◆ 暮らしの課題解決

図書館では市民生活のうえで特に関心の高い課題として、4つのテーマ「医療・健康情報（岡町）」・「多文化共生（庄内）」・「ビジネス・就労（千里）」・「子育て・DV（野畑）」を設定している。資料収集・情報提供に加え、関係部局・機関と連携しセミナーをおこなうなど、テーマにそった取り組みを充実させた。

各テーマごとの取り組み（市民協働事業については別途掲載9ページ）	
医療・健康情報	<p>&lt;講座&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療健康情報レクチャー（「がんの痛みのケア」他 2回 会場：服部、千里図書館 共催：市立豊中病院）</li> <li>○認知症サポーター養成講座（5回 会場：庄内、岡町、千里、蛍池、高川図書館 共催：長寿安心課・豊中市キャラバンメイト連絡会）</li> </ul>

	<p>&lt;関連資料の展示・貸出&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○豊中市保健所主催の講座（3回 会場：すてっぷホール）</li> <li>○豊中市保健所の啓発パネル展（4回 会場：岡町図書館）</li> </ul> <p>&lt;医療健康情報支援サービスのPR&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○とよなか市民健康展（会場：文化芸術センター 主催：市医師会・歯科医師会・薬剤師会）</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「国立がん研究センターがん情報ギフトプロジェクト」設置（岡町図書館）</li> <li>○「認知症情報コーナー」設置（高川図書館）</li> <li>○パスファインダー「認知症」「病気・病院」の改訂</li> </ul>
<p>多文化共生</p>	<p>&lt;配本・貸出&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○とよなか国際交流協会への外国語資料の配本・貸出</li> </ul> <p>&lt;相談会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○外国人親子に向けた高校進学相談会（会場：庄内公民館）</li> </ul> <p>&lt;パスファインダーの改訂&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○パスファインダー「国際交流」「がいこくじんのせいかつがいど」の改訂</li> </ul> <p>&lt;多文化コーナーのPR&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○庄内公民館の「日本語よみかき教室」に庄内図書館の多文化コーナーと図書館の利用法を紹介したチラシを設置</li> </ul> <p>&lt;図書館 Web サイトの更新&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館コンピューターシステムの更新にあわせ多文化共生のページを更新</li> </ul>
<p>ビジネス・就労</p>	<p>&lt;講座&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ビジネスゼミナール（Bゼミ）（「創業のFirst Step～創業に向けた基礎知識を学ぼう～」他1回 会場：千里、庄内図書館 共催：産業振興課）</li> </ul> <p>&lt;関連資料の出張展示・貸出・ブックリストの配布&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○経営セミナー（会場：千里図書館 主催：産業振興課）</li> <li>○TOYONAKA BUSINESS UP CAMP（3回 主催：産業振興課）</li> <li>○「働くための基礎知識講座」（主催：くらし支援課）</li> <li>○「子育て世代の働き方とマネー・タイムプラン」（豊中しごとセンター&amp;図書館コラボセミナー 主催：くらし支援課）</li> <li>○とよなかもちゼミ夏・秋（主催：meet-upとよなか 各エリアのまちゼミ参加された店舗のゼミのテーマに沿ってブックリスト作成・冊子の配布・図書の展示）</li> </ul> <p>&lt;ビジネス・就労支援サービスのPR&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「勤労者ニュース」へPRのチラシを配布依頼（編集・発行：くらし支援課）</li> </ul> <p>&lt;ビジネス・就労支援関連資料の貸出&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○豊中しごとセンターへの配本・貸出（所管：くらし支援課）</li> </ul>

<b>子育て・DV</b>	<p>○里親制度説明会と個別相談会（共催：大阪府池田子ども家庭センター・大阪西本願寺常照園・キアアセット他） パネル・関連資料の展示と貸出（2回 会場：野畑、服部図書館）</p> <p>○「社会的養護について学ぼう～翼の子ども達・里親相談会とその後～」 社会福祉法人大阪水上隣保館 翼里親支援専門相談員による館内研修の実施</p>
---------------	---


## ◆ レファレンスサービス

資料をつかって日常の疑問や、仕事に必要な情報など、市民のさまざまな調べもののサポートをしている。関連機関や相談窓口・専門家の紹介もおこなう。

岡町、野畑、千里図書館には独立した参考室（千里は参考図書コーナー）があり、専任の職員を配置している。レファレンスの受付は来館のほか図書館 Web サイトや電話・FAXによりおこない、記録は全館で共有している。記録の一部は「調査事例紹介ポスター・チラシ」として館内掲示や Web サイトで公開し、調査で得たノウハウは 18 種類ある調べ方ガイド「検索なび」に反映させ、市民に還元している。令和元年度のレファレンス協同データベースへの貢献度は、被アクセス件数が、参加館 815 館中第 6 位と、非常に高い結果となった（令和元年 12 月 31 日現在）。市町村立図書館の中での被アクセス件数は、平成 27 年度以降 5 年連続で第 1 位となっている。ほかにも地域情報発信の一環として、豊中市に関する新聞記事の見出しを Web サイトで検索できるようにしている。

3月に新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館した際には、Webサイトで新型コロナウイルスに関するサイトのリンク集を公開し、情報提供をおこなった。

**調査事例紹介：その 48 万博公園と  
大阪万博のタイムカプセル**



豊中市立図書館には、毎日いろいろな調査の依頼が届きます。  
そのうちの一部をご紹介します。

**Q. 1970 年の大阪万博で、タイムカプセルが埋められたと聞いたが、何が埋められたか分かる資料はあるか。**

**A. 『Time Capsule EXPO'70 記録書』（松下電器産業）に、タイムカプセルの概要、収納品リストが記載されています。**  
大阪城公園本丸跡に、2 箇のタイムカプセルが埋められていて、2 箇の容器のうち、上部に埋設したものは、毎世紀に 1 回開封し、再埋設されています。下部に埋設したものは、西暦 6970 年に初めて開封されます。

**Q. 万博公園の土地の変遷を知りたい**

**A. 『日本図誌大系 近畿 1』（朝倉書店）p.66-69 や『図歴地形図 1/2.5 万 その 1 吹田』（大阪人文社出版センター）で、明治から昭和の地図を見ることができます。**

事例について詳しく知りたい方は、豊中市立図書館のサイトの「調べる／相談する」→「レファレンスサービス」→「レファレンス事例をさがす」から、キーワード「万博公園 タイムカプセル」で検索してみてください。

### 調査事例紹介ポスター・チラシ

## ◆ 個人貸出サービス

### <貸出室・一般図書コーナー>

令和元年度の個人有効登録者数は2.0%減、継続貸出を除いた成人書の個人貸出冊数は8.6%減少となっている。個人貸出人数（15才以上）は8.5%減少しており、要因として東豊中図書館の空調設備改修工事にもなう約4か月の休館と、3月の新型コロナウイルス感染拡大防止のための全館臨時休館の影響などが考えられる。年齢別貸出人数の推移をみると、15～39才の若年層が14.4%以上減少している。

全館臨時休館の際は、予約の受け渡しをおこなっている期間も、書架から資料を選びたいとの要望が多かった。予約利用が増えた近年でも、未知の資料を書架で発見する楽しみを利用者が求めていることを再認識した。

■登録率 35.9%                      ■個人有効登録者数 144,055人                      ■個人予約点数 763,861件  
■個人貸出人数（15才以上）807,077人                      ■継続貸出を除く個人貸出冊数（成人書）1,718,377冊

### <こども室・児童書コーナー>

14才以下の個人有効登録者数は2.9%減少、個人貸出人数も9.2%減少した。要因として東豊中図書館の空調設備改修工事による休館や、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館とサービスの縮小などが挙げられる。

一方、児童書の貸出冊数は5.1%の減少、個人貸出冊数は5.7%の減少にとどまった。無認可保育所（園）や障害児通所支援事業所などの利用とお散歩来館の増加によるものと考えられる。

とよなか男女共同参画推進センターすてっぷにて、父親向けの催し「土曜の朝はパパタイム“読み聞かせレクチャー”」を初めて開催した。休日に親子で来館する父親は多いが、ここでも熱心に講座を聞く姿が見られた。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月後半から、おはなし会などの行事の休止が続いており、再開を待ち望む声が多く寄せられている。

■個人有効登録者数（14才以下）24,439人                      ■個人貸出人数（14才以下）151,598人  
■継続貸出を除く貸出冊数（児童書、団体含む）1,070,574冊                      ■継続貸出を除く個人貸出冊数（児童書）964,821冊

## ◆ ブックスタート事業「えほんはじめまして」

絵本を通して赤ちゃんと保護者が楽しいひとときを過ごし、心ふれあう時間を持つきっかけとなることを目的とし、子育て・子育て支援事業の一環として4か月児健康診査時に実施している。図書館と母子保健課、そして「豊中子ども文庫連絡会」・「おはなしボランティアポケット」をはじめとする市民ボランティアが連携・協働し、健診を受ける一組一組に言葉をかけ、絵本を手渡す。経験豊かなボランティアスタッフから読み聞かせや絵本の楽しみ方などのアドバイスを受け、実際に絵本を持ち帰ることで、家庭ですぐ絵本に親しむことができるため、好評を得ている。令和元年度は市内3か所の4か月児健診会場で、延べ44回実施し、2,996組にブックスタートパックを手渡した。受診しなかった人には後日保健師による家庭訪問などの機会を通して絵本を渡している。（保健師による配布数：38件）新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年より健診回数が4回少なくなり、配布数も減少しているが、会場で渡せなかった人には引換券を郵送し、図書館でブックスタートパックを手渡している。

この事業は、日本語を母語としない人や障害のある人を含む、市内のすべての赤ちゃんと保護者と関わりを持つ貴重な機会である。新たな図書館利用の促進とともに、関係部局やボランティアスタッフとの協働によりさまざまな情報提供をおこなうことで、地域の子育て支援サービスと市民をつなぐ役割も果たしている。

令和元年度のスタッフミーティングでは、「ははこ助産院」の岡本千加さん（助産師）を講師として研修「現代の子育てについてー昔と今の違いー」をおこなった。



スタッフミーティングでの研修

## ◆ ヤングアダルト（YA）サービス

ヤングアダルト（YA）とは、おもに中学生・高校生（12～18才）の世代を指す。年齢別個人有効登録者数は12～17才が1.9%減少、18～21才は横ばい。年齢別貸出人数は減少傾向にあるが、東豊中図書館の空調設備改修工事による休館や新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館などの影響もあった。

令和元年度は図書館 Web サイトのYAのページを刷新した。千里図書館で活動するYAらば（YA世代のボランティア）は、新しく2人のメンバーを迎え、計6人が登録。「YA! BOOKS 通信」の作成や近隣商店などへの配布をおこなった。また、千里図書館「ふゆのおたのしみ会」のほか、新たに「ときどき！おはなし会」にも参加し、絵本の読み聞かせを通じて、子どもたちやその保護者との交流を深めた。



図書館 Web サイト

YAのページ

■個人有効登録者数（12～17才）17,724人 （18～21才）6,300人

■個人貸出人数（12～21才）55,159人

おもな取り組み	実施館
中学生職場体験学習おすすめ本POP展示	岡町、庄内、千里、野畑、高川、蛍池図書館
豊中高等学校ボランティア「志学」の受け入れ	岡町、野畑、高川、蛍池図書館
エリア内の小中学校と連携し夏休み中にスタンプラリーを実施	東豊中、高川図書館
各館の取り組み	
豊中市ビブリオバトルチャンピオンシップ中学生大会候補本展示	岡町図書館
市内高等学校への学校訪問（岡町からも同行）、YA!BOOKS 通信 18号発行（YAクイズ）、「まちライブラリーブックフェスタ2019 in 関西」に参加、千里青雲高等学校文化祭において図書館紹介のブース設置、千里青雲高等学校図書委員によるおすすめ本POP（コラボまつり期間）、ときどき！おはなし会に参加、ふゆのおたのしみ会の開催（YAらば企画・実施）	千里図書館
豊中支援学校中学部の職場体験実習、箕面自由学園中等部のインタビュー対応、高校情報パンフレット展示コーナー設置	野畑図書館
小中学校連携巡回POP展示	東豊中図書館
第四中学校・第十六中学校図書委員に向けて読み聞かせのレクチャーを実施、同中学校との連携展示	服部図書館
第十二中学校生徒によるエリア内小学校での紙芝居会	高川図書館
「Shaber i場（しゃべりば）」（中高生はじめ市民の居場所）開設、学校図書館の活動紹介と作品展示、「夏休みしゅくだいおたすけDAY」	蛍池図書館



## ◆ 高齢者サービス

長寿安心課および豊中市キャラバン・メイト連絡会と共催して「認知症サポーター養成講座」を岡町、庄内、千里、高川、蛍池図書館の5館で実施した。また、認知症徘徊高齢者探索模擬訓練を目的として、庄内図書館が庄内公民館や庄内介護予防センター、地域の商店街などと協力して「ちょっと変わったオトナの鬼ごっこ」を引き続き開催した。

庄内図書館では来館者のニーズに合わせ、ストレッチ、スマートフォンの使い方、一人ぶんの食事レシピなど老後の前向きな暮らしを考える資料を集めた「シニアライフ応援コーナー」を新設した。そのほか高齢者施設向けの団体貸出や配本サービスとして平成26年度から市全域の高齢者施設に団体リサイクルによる資料譲渡の機会を提供している。令和元年度は7施設、701冊の利用となり、平成30年度より2施設増え、冊数は約2倍になった。

高川図書館では緑地地域包括支援センター高川分室の協力で館内に血圧測定器を設置。施設内の高川スポーツルームの指導員を講師に「ストレッチタイム」を実施した。庄内公民館との共催で近畿財務局出前講座「金銭トラブルに巻き込まれないために」を開催するなど様々な機関と連携しながら高齢者を対象としたサービスをおこなっている。また地域子ども教室を開催。高齢者の経験と特技・能力が地域に還元されるとともに異世代交流の場となっている。



シニアライフ応援コーナー

## ◆ 障害者サービス

身体上の都合で来館できない市民に宅配や郵送で資料を貸し出している。

視覚に障害のある人に、録音図書（音訳図書やデージー図書<sup>\*1</sup>）・点訳図書の貸出や対面朗読を実施。岡町、庄内、千里、野畑、蛍池図書館には拡大読書器を設置するとともに、全館で大活字本を提供している。耳の不自由な人には筆談ボードなどによる対応や緊急用ピクトグラム<sup>\*2</sup>の表示板などのほか、千里、蛍池図書館には補聴器用の磁気ループ<sup>\*3</sup>を設置している。

点訳図書・録音図書・さわる絵本の作成や対面朗読サービスは、ボランティアグループの協力によりおこなっており、「音訳ボランティアフォローアップ研修講座」を年2回実施している。

大阪ガスグループ“小さな灯”運動北東部支部より、プレクストーク<sup>\*4</sup>PTN3の寄贈があった。

「障害者サービス担当職員向け講座」（主催：日本図書館協会、国立国会図書館関西館）の実習館として協力し、2人受け入れた。

令和元年度は、国立国会図書館「視覚障害者等用データの収集および送信サービス」へデータ提供を始めた。これにより全国の利用者が図書館所蔵のデージー図書を直接ダウンロードできる。

また、図書館コンピューターシステム更新時にプレクストークPTR3を導入し、パソコンを介さずインターネットから直接ダウンロードできるようになった。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館中、対面朗読やボランティアグループの集会室利用などさまざまなサービスを提供できなくなった。今後の課題として、遠隔での対面朗読など代替手段の検討も必要である。

- \*1 デイジー図書＝音声情報を圧縮して記録したCD
- \*2 ピクトグラム＝絵文字や絵言葉
- \*3 磁気ループ＝マイクを通した明瞭な音声聞くためのシステム
- \*4 プレクストーク＝デイジー図書の再生機



プレクストークPTN3  
視覚障害者向け卓上型デイジー図書の再生専用機  
音声ガイドで簡単に操作できる

## ◆ 行政へのサービス（庁内仕事応援事業）

庁内各部局に対する資料の貸出やレファレンスサービスに加え、各職階の新任職員研修（課長級・課長補佐級・係長級・5年目・新規採用）や課題研修での関連資料の展示・貸出と業務に役立つ情報の提供をおこなっている。職員研修の休憩時間などに、展示本は手に取られ、借り出されている。新規採用職員対象の研修では希望者に利用者カードを発行した。研修会場で展示した資料は市職員向けの情報共有システム内に設けた「庁内仕事応援サイト」で後日紹介し、研修終了後の自己研鑽に役立てられるようにしている。レファレンス依頼は、展示パネルに使う画像検索、市南部地域の歴史がわかる資料、テーマに沿った雑誌論文の検索、昔あった橋の名前調査、など多岐にわたった。

## ◆ 団体へのサービス

学校、放課後子どもクラブ、子ども園、幼稚園、保育所（園）、高齢者施設、障害者施設、子ども文庫・おはなしボランティアグループ・読書会などの市内の活動グループに資料貸出などの支援をおこなっている。

### <学校図書館>

令和元年度の小中学校図書館への貸出冊数は前年比1.6%増加。学校内での児童・生徒のリクエスト対応の支援や、調べ学習に使用する資料の提供など、基本的なサービスを実施した。毎年2回、学校司書と公共図書館司書との地域館交流会を実施している。各地域の情報共有に加え、連携展示や夏休みスタンプラリー・「宿題おたすけDAY」・「第12中学校生徒によるエリア内小学校での紙芝居」など、地域ごとに工夫をこらし特色ある取り組みを展開している。

■小中学校図書館への貸出冊数 59,494 冊（継続貸出12,141 冊含む）

### <学校図書館支援ライブラリー>

学校図書館の「読書」・「学習・情報」・「教員支援」の3つの機能をサポートしている。蛭池図書館所蔵

の教員支援用資料は利用が順調に伸びている。道徳関連資料についての問い合わせも多かった。

また岡町図書館のパッキング資料（調べ学習サポートパック・図鑑セット・総合百科事典ポプラディア）については、利用実績から総合百科事典ポプラディアのセット追加などをおこなった。

### <幼稚園・保育所（園）・こども園・放課後こどもクラブなど>

幼稚園・保育所（園）・こども園・家庭保育所・認可外保育所に、季節や行事などに関する資料の貸出をおこなっている。貸出や受取場所などについて相談に応じ、各施設の絵本コーナーに選書・配本の協力をしている。

小学校の放課後こどもクラブに、職員が選定した定評のある本・紙芝居などを配本・貸出している。令和元年度は、放課後こどもクラブの児童数の増加にともなう配本冊数増や貸出セットの内容変更の希望にも対応した。さらに視覚に障害のある児童の読書についての相談・貸出に応じた。

### <子ども文庫>

令和元年度は1文庫の閉庫があり、子ども文庫数は12、そのうち「豊中子ども文庫連絡会（豊子連）」加入は9文庫。それぞれの地域で子どもに本を手渡し、子どもの育ちを見守る活動が続けられている。子どもの身近な居場所として、また、子どもをとりまく大人の交流の場として地域に根づいている。

図書館からは文庫活動を支援するために、長期の団体貸出や必要なテーマの資料を提供し、サポートにつとめた。また、文庫の紹介スライド（DVD）を制作するため各文庫から協力を得た。毎年、豊子連と共催で実施している「子どもと本のまつり」では、おはなしや手づくりあそびを楽しみ、「子どもと本のつどい」では、岡町図書館を会場に、絵本作家はやしすすみさんの『ねこぼん』絵本原画展と「はやしすすみの絵本あそび」と題してワークショップをおこなった。



はやしすすみさんのワークショップ

### <おはなしボランティア>

多くのボランティアグループが、市内のさまざまな場所で活動している。子どもに対する読み聞かせのほか、自主的にボランティアの輪を広げる講座なども開催している。図書館に関連する各グループとの活動内容については「市民との取り組み事業」（9-10ページ）を参照。

図書館では幼稚園や小学校のPTAの読み聞かせボランティアに向けて出前講座をおこなっている。「子どもと本をつなぐボランティア講座」（全6回）・「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」（令和元年度の講師は6月に西村寿雄さん、1月に松田素子さん）など、これから活動を始める市民や活動中の市民への支援を継続している。



## ◆ 動く図書館「とよ1ぶっくる」による巡回サービス

図書館から離れた地域や来館が困難な子どもたちの通う施設へ、動く図書館車に約 3,000 点の資料を載せ、16 ステーションおよび 10 施設を約 4 週間に 1 回の頻度で巡回した。令和 2 年 2 月以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、巡回中止やサービス縮小が続き、個人貸出人数と個人貸出冊数はともに減少した。ボランティアグループによる「おはなし会がやってきた！」も豊中支援学校・児童発達支援事業所あゆみの 2 施設のみでの実施となるなど影響を受けた。

また堀田公園ではボランティアグループによる「あおぞらおはなし会」を、服部緑地都市緑化植物園では「動く図書館@植物園～みどりのライブラリー」(春・秋)を開催した。6 月には各ステーションにて北摂アーカイブスのパネルを展示した。各ステーションのある地域の写真パネルを持ち込んだところ、興味深そうに見ている親子や懐かしそうに当時のことを話してくださる高齢者の姿もあった。

■個人貸出人数 6,592 人

■継続貸出を除く個人貸出冊数 34,804 冊

## ◆ 図書室

いぶき図書室には約 7,400 冊の資料があり、週 2 回午後 1 時から午後 5 時まで開室している。また、月 2 回図書室職員とボランティアの協力によりおはなし会をおこなっている。利倉西センター図書室には約 4,300 冊の資料があり、週 2 回午後 2 時から午後 5 時まで開室している。

定期的に資料を入れ替えることで、限られたスペースを有効に活かし、書架を新鮮に保っている。

令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3 月に両図書室とも休室した。

(いぶき図書室)

■個人貸出人数 5,389 人

■継続貸出を除く個人貸出冊数 18,005 冊

(利倉西センター図書室)

■個人貸出人数 2,058 人

■継続貸出を除く個人貸出冊数 6,560 冊

## ◆ 資料の収集と保存

職員で構成する選書委員会が、毎週全館の資料の選書をおこなっている。「豊中市立図書館資料収集方針」(図書館 Web サイトで公開)にもとづき、市民の主体的な生涯学習活動を支援していくために市民の要望および社会の動向にも配慮しながら、教養・調査研究・レクリエーション・ビジネス・日常生活に役立つ資料を収集している。令和元年度も引き続き「暮らしの課題解決」支援サービスに関わる資料の整備に取り組んだ。

昨今、ダウンロードサービス付きの資料など出版の形態も多種多様になってきて、購入にあたり現物確認を要する資料が増えてきた。3 月に新型コロナウイルス感染拡大により、書店での現物確認や選書会議の開催などに影響があったが、図書館が果たすべき使命や役割を念頭に置きながら、リクエストやレファレンス内容の分析をおこない、利用者への多様な資料、情報提供をめざしている。

市内 9 図書館を一つの図書館と考え、限られた資料を効果的に運用するように心がけている。野畑図書館書庫がすでに飽和状態に達しているなか、府立図書館や他自治体の図書館との相互貸借制度・広域利用も活用し、図書館の蔵書構成を考え、資料保存につとめていく。